

3L通信

ルクス・ムンディ

# Lux Mundi

創刊号

vol.1

2005 7

Life  
Light  
Love

特集 1 ホームカミングデー  
集まれ、同窓の友。

特集 2 同窓会総会報告



東北学院中学・高等学校新校舎



14万人が繋ぐ、**TG** コミュニケーションの輪

Tohoku Gakuin Alumni Association

東北学院同窓会報

# Welcome

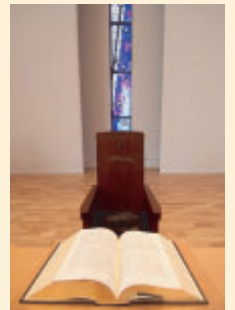
## ようこそ懐かしの学び舎へ。

### 表題 ～ Lux Mundi (世の光)～

「Lux Mundi (ルクス・ムンディ)」は、ラテン語で「世の光」を意味します。「世の光 わがほこり」と校歌にも出てきますので、東北学院で学んだ方々には馴染み深いものがあると思います。「ルクス・ムンディ(世の光)」は、いうまでもなく東北学院の真の創設者イエス・キリストのことです。そのキリストの光に導かれて、それぞれの人生を歩んでいただきたいとの願いが込められています。

## C O N T E N T S

- P 03** 3L通信 発刊に寄せて…東北学院長・同窓会長 倉松 功
- P 04** 特集1 ホームカミングデー～集まれ、同窓の友。～
- P 07** 躍動する同窓生 ～世代を超えたTGの輪～
- P 09** 懐かしい風 美味しい味
- P 11** 3Lセミナー『宮城県沖地震に備える』…東北学院大学工学部教授 飛田善雄
- P 12** 健康と医療『がんの予防と治療』…東北厚生年金病院名誉院長 藤村 重文 氏
- P 13** 工学部 ～明日への変革～
- P 14** TGギャラリー
- P 15** 特集2 同窓会総会報告
- P 20** 北から南から Around Japan
- P 21** この人この顔
- P 22** キャンパスニュース



新礼拝堂へ受け継がれた説教台の椅子  
旧礼拝堂から新礼拝堂へ、説教台の椅子が受け継がれています。

ホームカミングデー

Home Coming Day

10/15 sat

# 集まれ、同窓の友。

全国で活躍する同窓生が  
一堂に会するこの日。  
旧交を温め合い、

新しい出会いを喜ぶ笑顔が  
キャンパスに溢れます。  
たくさんの方のお越しを  
お待ちしております。

日時 2005年10月15日(土)

13:00～ ホームカミングデー

17:00～ 懐かしい出会いの夕べ (江陽グランドホテル)

日時

会場 東北学院大学 土樋キャンパス

ラーハウザー記念東北学院礼拝堂

会場

# ルクス・ムンデイ(世の光)

## 3L通信発刊に寄せて

東北学院院長・同窓会長

倉松 功



東北学院同窓会は、一昨年創立百周年を迎えました。同窓生は本年五月現在約十四万三千人を数えています。同窓会は三つの目的を掲げています。東北学院建学の精神に基づき会員相互の親睦、研鑽、母校の発展への寄与です。これらの目的を目指して同窓会を充実させるために、大学設立以来に限ってみても、歴代の同窓会長(小田忠夫先生、情野鉄雄先生、田口誠一先生)及び各支部長・T.G.会長はじめ諸先輩は並々ならぬ努力を重ねて参りました。その三つの目的は当然のことながら、自然発生的に達成されるものではなく、自ら奮起し、常に掘り起こさなければならぬ性質のものであります。同窓生の数が近年急激に増加すると共に、特に同窓生相互の情報交換や同窓生と母校とを繋ぐための会報の要望が出されるようになったのは当然のことと存じます。これまでの東北学院時報の中の二頁では同窓会自体の情報提供だけでも、同窓生の増加に比例して従来以上の努力を必要としていたといえるでしょう。

このような状況を背景にして、昨年度東北学院時報四頁分の臨時増刊を今回の3L通信への二つの準備・踏み台として発行しました。そして、本年五月十四日の同窓会総会は3L通信の発刊を承認しました。

中学・高等学校、東北学院榴ヶ岡高等学校で親しまれている標語「Lie」「Light」「Love」の3Lに由来しています。それは東北学院の創設者(三校祖)の一人D・B・シユネーガー学院長が、アメリカ合衆国ドイツ改革派教会月刊誌の表題から採用して用いたものです。しかし、従来東北学院大学では耳にするものの少なかつたものです。実際3Lを公式に大学で用いるようになったのは、数年前からのことです。そこで、ルクス・光・ムンデイ(世の、すなわち新約聖書マタイによる福音書五・十三、十四の「地の塩、世の光」の後半のラテン語「ルクス・ムンデイ」の名前を加えて大学のみの同窓生にも親しみのある聖書の言葉の一部を3L通信の誌名としたのです。

3L通信「ルクス・ムンデイ」の発刊に伴い、昨年度の東北学院時報の同窓会臨時増頁は廃刊になります。3L通信「ルクス・ムンデイ」は、東北学院時報の同窓会頁と重複しない母校の近況、ニュースとその詳報、支部長・T.G.会長はもちろん、色々な分野で活躍されている多才な同窓生にスポットを当て情報を提供します。同窓生のネットワークの拡大と深まりを期待すると同時に、同窓生からの情報提供も併せてお願いする次第です。そして、同窓生皆さんの会報として成長させていきたいと願っています。ご協力をお願いいたします。

# 懐かしい出会いが そこにある

## ホームカミングデー開催

東北学院大学では、毎秋「六軒丁祭」に合わせてホームカミングデー（同窓祭）を開催しています。ホームカミングデーは今回で六回目を迎えますが、今年から卒業生全員にご案内を差し上げて開催することにしました。同窓生同士あるいは恩師との懐かしい出会いを通して相互の親睦と交流を深めていただき、母校との絆が「層強まる」ことを願っています。

## 多彩なプログラム

多くの同窓生に楽しんでいただき、また学生時代を懐かしく思い出してもらえよう工夫を凝らしてお迎えます。記念礼拝では讃美歌を一緒に歌い、そして特別講演会ではとりわけ今日関心の高いテーマを取り上げ、皆様方の教養をさらに高めます。また、毎年好評をいただいているパイオルガンコンサートを今年も実施し、深まりゆく秋を感じながらパイオルガンの演奏をお楽しみいただきます。

10/15  
sat

13:00~  
19:00

場所

東北学院大学土樋キャンパス及び  
江陽グランドホテル



12:00~13:00	<b>受付</b>
	場所：正門警備員室隣
13:00~13:30	<b>記念礼拝</b>
	場所：ラーハウザー記念東北学院礼拝堂 司式・説教：宗教部長 佐々木 哲夫
13:30~13:50	<b>記念式</b>
	場所：ラーハウザー記念東北学院礼拝堂 挨拶：学院長・同窓会長 倉松 功 //：大学長 星宮 望 //：宮城県副知事 加藤 正人氏 (昭39文経卒)
13:50~14:00	<b>休憩</b>
14:00~15:00	<b>特別講演会</b>
	場所：ラーハウザー記念東北学院礼拝堂 講師：(社)東北経済連合会 常務理事・事務局長 遠藤 芳雄氏 (昭46経経卒) 演題：「東北地方における景気動向の展望」
14:00~16:00	<b>無料法律相談</b>
	場所：法科大学院・総合研究棟
15:15~16:00	<b>パイプオルガンコンサート</b>
	場所：ラーハウザー記念東北学院礼拝堂 奏楽者：教養学部教授 今井 奈緒子
16:00~17:00	六軒丁祭見学及び記念パーティー会場へ移動 <b>記念パーティー受付</b>
17:00~19:00	<b>懐かしい出会いの夕べ</b>
	場所：江陽グランドホテル 司会：フリーアナウンサー 竹本 恵子氏(昭54経商卒) 挨拶：学院長・同窓会長 倉松 功 //：大学長 星宮 望 //：仙台市副市長 桜井 正孝氏 (昭44経経卒) 「モッシージャズオーケストラ」による演奏 さとう宗幸ミニコンサート(予定) <b>記念抽選会</b> 特別賞：温泉宿泊利用券(ペア券) A賞：一万円ホテル利用券 B賞：五千円ホテル利用券

## 特別講演会

### 演題 「東北地方における景気動向の展望」

講師／(社)東北経済連合会 常務理事・事務局長

遠藤 芳雄氏

時間／十四時～十五時

場所／ラーハウザー記念東北学院礼拝堂



近年の経済環境の急激な変化により、地域経済を巡る情勢も多様化しています。そこで、これからの景気はどうなっていくのか専門家のお話を伺います。

#### プロフィール

昭和四十六年東北学院大学経済学部卒業。同年、東北電力㈱入社後、厚生課長、地域交流課長、福島支店営業・配電部長を経て、平成十年に(社)東北経済連合会総務企画部長。平成十四年五月より同連合会常務理事・事務局長。

## パイプオルガンコンサート

奏楽者／教養学部教授

今井 奈緒子

時間／十五時十五分～十六時

場所／ラーハウザー記念東北学院礼拝堂



礼拝堂に響き渡るパイプオルガンの調べ。ぜひこの機会に本学オルガニストが奏でるパイプオルガンの演奏を心行くまでお楽しみ下さい。

#### プロフィール

東京芸術大学、ドイツ国立フライブルク音楽大学卒業。オルガンを秋元道雄、河野和雄、廣野嗣雄、Z・サットマリーの各氏に師事。一九八五年、Gペーム国際オルガンコンクール、一九八八年ブルージュ国際J・S・バッハC・P・E・バッハコンクールに入賞。ソリスト、通奏低音奏者として演奏活動を行っている。

# 無料法律相談

今年の特別企画として、法科大学院教授（弁護士）と同窓弁護士から協力をいただき「無料法律相談」を実施します。法律相談は完全予約制ですが、担当弁護士と時間の関係でお一人様の相談時間は二〇分～三〇分とさせていただきます。また、申込者が多数の場合は抽選とさせていただきますので、予めご了承下さい。相談を希望される方は、相談内容をできるだけ簡単にまとめ、九月十五日（木）ま

で東北学院庶務部校友課「無料法律相談」係宛へ封書でお申し込み下さい。抽選は担当弁護士に全て一任し、その結果は当選者への発送をもって代えさせていただきます。なお、お送りいただいた相談内容は、個人情報保護法の観点から厳重に管理し、個人の情報が漏洩したり不正に利用されることはありませんのでご安心下さい。

# お知らせとお願い

当日は、大学祭（六軒丁祭）が開催されています。午前十時から土樋キヤンパスの各教室で日頃の活動成果を学生が発表します。現役学生との交流も含め、活動内容をちよつとのぞいてみませんか。また、大学祭が開催されているため、当日は駐車場がご利用いただけません。恐れ入りますが、公共交通機関等をご利用下さい。交通機関のご案内は、次の通りです。

- 仙台駅前より長町方面バスにて仙台市立病院前で下車、徒歩五分。
- 仙台駅より地下鉄富沢行乗車、五橋駅または愛宕橋駅で下車、徒歩五分。
- 仙台駅より徒歩二〇分

# 懐かしい 出逢いの夕べ

もっと深く語りませんか

「もっとゆっくり語り合いたい」そんな声に応じて、今年から記念パーティーをホテルで開催することにしました。グラスを傾けながら学生時代を振り返り、懐かしい思い出に浸っていただきます。また、今年も豪華商品が当たる記念抽選会を行います。「懐かしい出逢いの夕べ」に参加を希望される方は、同封の「払込取扱票」（赤色）にて9月15日（木）まで会費を添えてお申し込み下さい。

時間：17:00～19:00  
場所：江陽グランドホテル  
          仙台地下鉄「広瀬通駅」  
          西-1出口前  
会費：お一人様5,000円



※同封の「払込取扱票」にて9月15日（木）までお支払い下さい



タイホウグループ社長

## 小野金夫

昭和二十八年 文経学部中退



レジャーフード・レンタルなど十六社を運営するタイホウグループの社長小野金夫さんは、日本版『アメリカンドリーム』を成し得た一人である。昭和二十八年、本学文経学部に進学するものの、経済的理由により一年生の前期で中退を余儀なくされた小野さんは、家計を助けるべく名古屋にいた叔母のところで住み込みで働いた。「当時の月給は二、五〇〇円でしたが、五〇〇円を自分の小遣いに、残りは全部

実家へ送金しました。実家の水産加工業が不振で店をたたみ、借金だけが残ってしまいました。親に困らせてはいかんと思ってね、実家の借金返済に少しでも役立ててほしかった」と懐かしむ。

後に、小野さんは叔母と共同で事業を営んでいた山口代造氏と出会う。その山口氏との出会いが、小野さんのサクセスストーリーに大きな影響を及ぼすことになる。昭和三十四年に小野さんは山口氏の長女と結婚し、昭和四十年には山口氏が経営していた京楽観光グループの総括専務取締役役に抜擢された。その後も順調に業績をあげる

まだ珍しかった時代ですから、働きさんに大変感謝され、目標も知らないうちに達成されました。でもね、本当は私が働きさんに感謝しなければいけないんですよ」と小野さんは話す。

小野さんは、社員を働きさん、アルバイトをスマイルさんと呼んでいる。自動車王国名古屋の社会状況を見越し、昭和四十六年に日本で初めて郊外型パチンコ店をオープンさせた。これが大当たりし、二号店、三号店と店を展開。今や売上高千億円を誇るタイホウグループ社長の小野さんは「社員あつての会社ですから、私は生涯雇用を貫きたいと思います」とキッパリ。

が、山口氏の助言もあつて三十五歳で独立、前身の大宝観光株を設立した。「働く人の幸せをいかに考えていくかが大切なんです。人あつてこそ企業ですからね。そして目標を共有化するため、まだまだ二十億円位しか達成していない時に『めざせ五十億、行こうハワイ』のスローガンを掲げてね、全働きさんに積立分を昇給して三年に一度は海外旅行をしよう」と決めさせてもらいました。今と違って海外旅行は

また、小野さんは「物集まらざるは恥なり、集めて己のものにするも恥なり」の言葉を教訓に、長寿企業になるための革新、メセナ活動の継続(名古屋フィルハーモニー、地元演劇の育成) (知的障害者の働き場としてワインワイナリーの施設拡充) (地域安全活動 障害者リーダー育成の愛の輪運動活動)等に「家内と二人三脚で私財を使いたいと夢見ています」とこれからも福祉事業に情熱を注いで行く。

## 社会貢献、福祉事業、

## リストラなし。

## 会社より人間重視です。

## 躍動する



# 同窓生。

シリ

次なる小説のテーマは「アイヌ」。  
仕事と両立させながら  
文筆活動に取り組んでいきたい。

第十四回  
日本ファンタジーノベル大賞  
優秀賞受賞作家。

作家  
**小山 歩**

気仙沼市職員

平成十四年 文学部史学科卒



「まだ作品が一つだけですので、作家と言うには少し早いような気がします」とはにかみながら話す小山歩さんは、現在宮城県気仙沼市の職員。文壇デビューとなった「戒(かい)」で、二〇〇二年に第十四回日本ファンタジーノベル大賞(実力派作家の登竜門とされる新入文学賞)の優秀賞を受賞した。「戒」は隠れた名作ともいわれ、古代国家を舞台にした架空歴史小説で、「道化舞」の能手として二国を救う主人公「戒」の活躍と苦悩を描いた作品である。

をよよく読んでいました。読書を重ねていくうちに自然と創作への意欲が芽生えてきて、高校の入学祝にもらったワープロで書きました。大学に入学してからは学生生活が忙しくなりそのままにしていますが、大学四年生になって皆が就職活動を始めたらまた書き出しました。就職活動に何となく不安を感じ、現実逃避みたいな感じで書いていました」と当時を振り返る。受賞の知らせが届いたとき、小山さんは就職しようか、あるいはそのまま専業作家になるか迷ったと言う。結局、先輩作家のアドバイスを受けて、公務員の道を選んだ。

次は、「シャクシャインの戦い」をテーマにアイヌ系の歴史小説を書きたいと話す。主人公は「アイヌに拾われ育ててもらった、和人の捨て子」で、自分がアイヌなのか和人ののか決めかねたまま、戦いに身を投じていくストーリー。「私の場合は、小説を書いているうちにイメー

ジがどんどん膨らんできて、もうどっちに行くか分からない感じです」と小山さん。就職してからは仕事を覚えるのに精一杯で文筆活動は控えていたが、「これから書いてみたいものは沢山あります。仕事とうまく両立させながら、じっくり取り組んでいきたいです」と抱負を語る。作家としての出発点に立ったばかりの小山さん。これからの活躍に期待が集まる。

Ayumi Oyama



# 懐かしい風

オーナーの地元・田尻産の  
新鮮な野菜やハーブなど  
旬の素材が味わえる  
イタリアンレストラン。

## レストラン パリンカ



仙台藩祖伊達政宗公の霊屋として知られる瑞鳳殿に程近いところにあるのがイタリア料理のレストラン パリンカ。オーナーシェフの小関さんは、お客様を温かく迎えたいという気持ちから扉を開けた瞬間に暖炉が見えるようお店には工夫してあると話す。店内はいつも光と音楽に満ち溢れた心地よい空間が広がり、季節の食材をアレンジした旬のメニューを取り揃えている。特に、野菜やハーブは新鮮な旬の地物にこだわり、素材の持ち味を活かしたイタリアンを味わうことができる。全てが手づくりという小関さん。イタリアワインと、一緒に、イタリアンの旬を味わってはいかがが…。

### パリンカ

〒980-0814  
仙台市青葉区霊屋下19-8  
☎ 0120-01-7654  
☎ 022-213-7654  
営業時間／11:30～14:30  
／18:00～22:00  
定休日／火曜日

特 典／東北学院の同窓生は、  
ワンドリンクをサービス。



平成三年 文学部史学科卒

オーナーシェフ 小関 康



# 美味しい味

同窓生のお店を訪ねて…  
I

三陸の海の幸、  
旬の味覚、  
全国の地酒が楽しめる店。

東北最大の歓楽街・仙台国分町の稲荷小路でみちのくの『海の幸と大地の恵み』が味わえるお店として評判なのが○△□。総料理長の実兄（本学院同窓生）が経営している水産会社から直接仕入れてるので、いつも安く新鮮な魚介類が、心ゆくまで堪能できる。この○△□のネーミングには、「しかくい人もとんがった人もまゝるくなれる店」という気持ちが入められている。これからの季節は、がぜウニ・鮎・戻り鰹・秋刀魚（刺身）などの三陸の旬が楽しめるほか、○△□自慢の牛舌ステーキ（9月までの限定品）や松茸も見逃せない。また、蔵元から取り寄せた百種にも及ぶ地酒が旬の味を二層引き立ててくれる。伊達の城下町で食に酔うお勧めのお店です。

まる さんかく しかく



まる さんかく しかく (○△□)

〒980-0811  
仙台市青葉区一番町四丁目3-7  
☎ 022-222-1471  
営業時間 / 11:30~14:00  
                  / 17:00~23:00  
定休日 / 年中無休



取締役総料理長  
昭和四十七年 経済学部商学科卒  
松尾 啓二

# 宮城県沖地震に備える。

～地盤工学的観点から～

工学部教授(地盤工学)

飛田 善雄

宮城県沖地震は、昭和五十三年に発生し、約三十年が再現期間とされていますので、再度宮城県沖地震の起こる確率は極めて高いものとなっています。昭和五十三年の地震では、ブロック塀による人的損害、造成された宅地の被害、軟弱地盤上の建物被害、そして上下水道、ガス、電気などのライフラインの被害が特徴として取り上げられました。この地震の教訓が「宮城県の耐震性の向上」に活かされているかと言えば、必ずしも肯定的な結論には至りません。

例えば、造成宅地の被害では、造成前に谷地形であった盛土部分で地下水の流れにより浸食され大きな空洞が地震前に形成され、被害を大きくしたことが被害

調査の結果明らかとなり、宅地造成に関する厳格な法的措置の必要性が指摘されました。残念ながら、この教訓は活かされていないようです。地震被害の軽減化を図るということは、技術的要因ばかりでなく経済的要因、行政的要因などもあわせて考えることが必要になり、極めて複雑な問題となり、容易には解決できません。

地震による被害は、地震の大きさ(マグニチュード)、地震の伝播構造物の立地する地形、地盤の堆積状況など多くの要因に支配されます。ここでは、地盤工学的観点から地震被害を考えてみます。地震のときに被害を大きくする地盤は以下のようなものです。

- ① 軟弱な粘土地盤
- ② 液状化を

起こすような緩い砂地盤 ③ 造成地盤で切土(山を削った部分)と盛土(削った土を盛り土した部分)の境界部分 ④ 傾斜地となっている地盤、地震被害報道の際に、「構造物(建物)が悪かったのか、それとも地盤なのか」という視点をもつてみますと、被害のかんりの部分が地盤の影響が強く出ていることがわかります。①から④のような地盤では地震による地盤の動きが大きくなります。あるいは地盤が壊れた結果として建物の支持力が失われ、建物に被害が発生します。地盤と構造物の両者を適切に判断して始めて耐震性の判断が可能になります。

地球上の大きな地震の二十％強を占める日本列島に住む私たちが地震被害と無縁な生活を送

ることはできません。地震が起こったときに備えて、タンスを柱や梁に鎖で留めておくとか、家族の安全の確認や集合場所を決めておくという自衛手段と同時に、自分の家の基盤である地盤の成り立ちについても合わせて考えていただく大きな損失から逃れることができます。



本学院は永年積み重ねてきた知的財産で地域社会に貢献していきます。

健康と  
医療

Medical Column

ドクター  
TG会

## がんの予防と治療

東北厚生年金病院名誉院長  
ドクターTG会長

藤村 重文氏

昭和三十一年 東北学院高等学校卒

はじめに

日本はいま、高齢化と少子化が同時に進行しているという世界のなかでも特殊な社会状況にあるとともに、経済・医療・福祉などの面でも大きな問題を抱えています。医療においてはがんが大きな問題になっています。

本稿ではがんのなかで現在最も注目されている肺がんを取り上げてみたいと思います。

## ①なぜ今肺がんが問題なのか

わが国では近年一年間約二〇〇万人が種々の原因で亡くなっていますが、そのうちがんを含む悪性新生物によるものが最も多く、年間三〇万人を凌駕しています。がんのなかでも肺がんは、男性では一九九三年に胃がんを抜いてがん死因の第一位となりました。肺がんの二〇〇三年の年間死亡数は男女合わせて五六、七〇一人に達し、二〇二五年には十二万人を超えるかと推定されています。

## ②肺がんはなぜ発生するのか

がんは、加齢や発がん物質への持続的暴露などによって、がん遺伝子の活性化、がん抑制遺伝子の不活化、DNA修復遺伝子の突然変異など、さまざまな遺伝子の異常が臓器組織の上皮細胞に集積

する結果出現します。肺がんでは気管・気管支や肺胞などの上皮細胞ががん状態の時期を経てがん化します。

発がんの原因物質は食物や大気中や水などを含む環境物質に数多くありますが、それらのなかで最も危険性のあるものがタバコで、タールのほか数十種類の発がん関連物質が含まれています。これらは長期間の喫煙によって肺のみならず消化管からも吸収されて全身の臓器と分布し蓄積されます。一日の喫煙たばこ本数に喫煙期間(年数)をかけた数値は喫煙指数(ラシクマン指数)とよび、四〇〇を超える肺がん発生の危険性が高まります。喫煙開始後二十〜三十年で肺癌発生の危険性が増大することになります。

## ③肺がんの予防

予防には一次予防と二次予防がありますが、二次予防とは発がん物質を避けることをいいます。肺がんでは禁煙をすることが最も大切な一次予防法です。禁煙に



30年間吸っている人の肺



タバコを吸っていない人の肺

よりがん化の過程に入っている上皮細胞は修復過程に入る可能性があるともいわれています。わが国では欧米先進国と異なり、肺がん罹患率は未だ増加傾向にあり、罹患率が減少傾向に転じるのはもう少し将来のことになると考えられます。現在は若い女性の喫煙率が上昇しているのが気がかりです。

肺がんの一次予防では肺がんを早期に発見することが最も重要です。我々の大規模な研究によって、肺がんの検診を毎年受診することによって肺がん死亡のリスクが三〇〜六〇%減少することがわかりました。前述の喫煙指数が四〇〇を越えた人はとくに毎年検診を受けることが必要です。

## ④肺がんの治療

わが国ではこれまで、発見された肺癌は十数%程度が根治されるに過ぎませんでした。しかしながら医療技術の進歩によって最近のわが国の手術成績は全体としてみると治療するのは全体で五〇%を越えています。肺がん集団検診により多数の早期肺癌が発見され、それらでは約九〇%が治療されています。放射線治療や化学療法や、それらと手術とを組み合わせた集学的治療も進歩しています。がん抑制遺伝子をがんに注入するという遺伝子治療も試みられています。

肺がんの治療はいまや個人の身体特性に合わせたオーダーメイド(テーラーメイド)治療法が可能な時代に入ってきている

といつても過言ではないでしょう。

おわりに

わが国では肺がんの増加傾向は今後も続くと考えられますが、がんによる死を少なくするためには、罹患率の減少と、治療率をよくすることが同時になされる必要があります。

肺がんに対しては将来新しい有効な治療法も開発され、手術を含めてオーダーメイド化し、治療率も向上すると考えられます。しかしながら、現在肺がんに対する実際の対策はひとつに、一次・二次予防をしっかり行うとともに、どの病院に優秀な肺がんの専門医がいるかを予め知っておくことでしょうか。



藤村重文(ふじむらしげふみ)

## プロフィール

東北学院中学・高等学校卒業後、昭和三十七年東北大学医学部卒業。東北大学加齢医学研究所呼吸器再建研究分野教授、東北大学加齢医学研究所付属病院長、東北厚生年金病院を経て平成十七年四月より東北厚生年金病院名誉院長。専門は肺移植、呼吸器腫瘍学、呼吸器外科学。平成十五年より宮城県教育委員会委員長。

# The focus to tomorrow

明日と未来を見極めながら

# 明日への変革

「工学部」が大きく変わります。 工学部学科改組2005年5月申請

## 新しき「工学の扉を開く」

本学工学部では、昭和三十七年の工学部創設以来の大改革を行います。工学部のこれまでの教育に加えて、各学科ともライフサイエンスや環境に配慮した教育の充実を図りました。物理情報工学科は、ナノテクノロジー！電子材料生体電子工学などの先端的な分野を含む電子工学科に改編いたします。

機械知能工学科(定員二二〇名)は、機械と人間社会との仲立ちをする二十世紀型の社会の要請に対応した技術者を育成するため、「情報制御工学」「人間生体工学」「機械・エネルギー工学」「設計・生産工学」の四コースを設けています。各コースのカリキュラムは、専門基礎教育をより充実させた構成となっております。

電気情報工学科(定員二二〇名)では、学科課程を「電力制御」「情報通信」の二つの系に再編成しました。これからは情報関連基礎知識を含むより高度な専門知識の習得が絶対条件です。電気工学に関する基礎科目を十分に習得した上で、電力制御、情報通信に関する専門科目を選択し学習いたします。


電子工学科(定員一〇〇名)では、未来をデザインできる技術者を育てるた

めに、「物性デバイス系」「電子計測システム系」の二つをおきます。一人一台の実験ブースでの実験指導と、演習での回路シミュレーションなど、電気電子工学の基礎の上に、電子工学とコンピュータ技術を総合的に学習できます。

環境建設工学科(定員一〇〇名)では、高校の新教育課程を考慮して一年次には基礎演習科目を、二、三年次では基礎科目を大切にしたカリキュラムを学びます。「建設工学コース」と「環境工学コース」を設けており、自分の将来の目的にあった学習ができます。「建築構造」関係の科目も配置されておりま

す。また平成十八年度からの高等学校の新課程「ゆとりある教育」のカリキュラム変更に対応して、高校と大学教育とのスムーズな接続が可能になるように、これまでの「入学前教育」に加えて、あたらしく「学基礎教育センター(仮称)」を新設するなど基礎教育の充実を図り、問題解決能力につながる基礎学力を重視した教育を行います。


このような二十一世紀の科学技術の重点分野を学部教育の中心におくことで、卒業後の進路となる産業分野も大幅に増えることとなります。



最先端分野の科学技術を学び、未来をデザインできる技術者を育てる

## 電子工学科

Department of Electronics



知的なモノと社会をつなぐ技術者を育てる

## 機械知能工学科

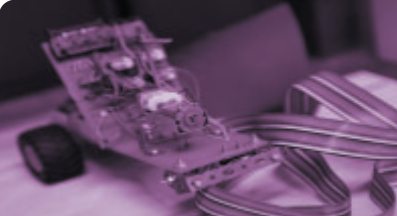
Department of Mechanical Engineering and Intelligent Systems



豊かな人間社会の創造に貢献し、困難で複合した問題の解決に寄与できる人材を育てる

## 環境建設工学科

Department of Civil and Environmental Engineering



電気情報工学の基礎的知識を持ち、人類社会の発展に貢献できる豊かな人間性と正しい倫理観を有する技術者を育成する

## 電気情報工学科

Department of Electrical Engineering and Information Technology





TSUCHITOI CAMPUS

Artist 古山 拓 Taku Furuyama 昭和61年 文学部 史学科卒

1962年岩手県に生まれる。アニメーター、印刷会社、デザインプロダクション勤務を経て、1994年からフリーランスとして仙台で活動。アトリエ名/ランズエンド。  
 ●東北イラストレーターズクラブ会員 ●宮城水彩画会会員 ●NHK泉文化センター講師 ●河北TBCカルチャーセンター講師 ●青葉アートスクール講師  
 日仏現代美術博「ARTEC造形美術賞」受賞、郵政公社発行年賀状・青森県・秋田県・岩手県・福島県絵柄採用等東北、東京等各地ギャラリーにて個展開催。

## 同窓会総会を開催—同窓会会則が改正される

平成17年度東北学院同窓会総会が5月14日(土)午後1時から仙台国際ホテルで開催され、全ての議案(表-1参照)が原案通り可決承認されました。本特集では、①収支決算及び収支予算、②事業計画、③評議員の推挙、④同窓会会則の改正についてご報告いたします。

### 東北学院同窓会議案

- |                        |                             |
|------------------------|-----------------------------|
| (1)平成16年度東北学院同窓会庶務報告   | (5)平成17年度東北学院同窓会事業計画(案)について |
| (2)平成16年度東北学院同窓会収支決算報告 | (6)平成17年度東北学院同窓会収支予算(案)について |
| (3)監事監査報告              | (7)学校法人東北学院評議員の推挙について       |
| (4)東北学院同窓会会則の改正について    | (8)平成17年度常置委員の委嘱について(報告)    |

(表-1)

### 収支決算・収支予算

平成16年度の収支決算は、入会金と会費を合わせた収入の部合計が予算額92,643,577円に対し、400,921円増の93,044,498円でした。また、支出の部については、各科目とも予算額を超えての支出がなく、支出小計は68,792,418円でした。このことにより、次年度繰越金が24,252,080円となり、支出の部合計が93,044,498円となりました。

次に、平成17年度収支予算は、収入の部の前年度繰越金が平成16年度予算額より減少することを受けて85,592,480円を計上しました。これは、昨年度予算額より7,051,097円減少となります。続いて、支出の部は、各支部・TG会への活動費補助の強化と「3L通信」の発行、さらに同窓会としての広報活動の充実を図ることを念頭に、「印刷費」「通信費」「広報費」などを増額しています。また、本通信特集1でご案内の通り、ホームカミングデーへの支援として「雑費」も増額しました。このホームカミングデーを通して同窓生と母校との距離が一層縮まることを願い、そのためにも一人でも多くの同窓生が参加されることを期待しています。



平成17年度 東北学院同窓会総会





平成16年度 東北学院同窓会収支決算書

自 平成16年4月 1日  
至 平成17年3月31日  
(単位:円)

収入の部				
科 目	予算額	決算額	差異(予算額-決算額)	備 考
前年度繰越金	31,443,577	31,443,577	0	
入 会 金	11,511,000	11,556,000	△ 45,000	@3,000
内				
大 学 院	174,000	174,000	0	58名
文 学 部	2,229,000	2,235,000	△ 6,000	745名
経 済 学 部	3,393,000	3,417,000	△ 24,000	1,139名
法 学 部	1,227,000	1,230,000	△ 3,000	410名
工 学 部	1,557,000	1,563,000	△ 6,000	521名
教 養 学 部	759,000	762,000	△ 3,000	254名
高 校	468,000	471,000	△ 3,000	157名
櫛ヶ岡高校	1,185,000	1,185,000	0	395名
中 学 校	519,000	519,000	0	173名
会 費	41,589,000	42,211,800	△ 622,800	大学③3,000円 中学・高校①1,800円
内				
大 学 院	255,000	609,000	△ 354,000	203名
文 学 部	8,238,000	8,229,000	9,000	2,743名
経 済 学 部	14,448,000	14,394,000	54,000	4,798名
法 学 部	5,013,000	4,988,000	15,000	1,666名
工 学 部	6,012,000	6,015,000	△ 3,000	2,005名
教 養 学 部	2,907,000	2,901,000	6,000	967名
内				
文学部二部	9,000	9,000	0	3名
経済学部二部	108,000	69,000	39,000	23名
高 校	1,800,000	1,990,650	△ 190,650	1,105名
櫛ヶ岡高校	1,899,000	1,969,800	△ 70,800	1,094名
中 学 校	900,000	1,027,350	△ 127,350	570名
名簿売却金	0	24,000	△ 24,000	
学院時報購読料	8,000,000	7,765,400	234,600	
雑 収 入	100,000	43,721	56,279	預金利息等
合 計	92,643,577	93,044,498	△400,921	

(表-2)

支出の部				
科 目	予算額	決算額	差異(予算額-決算額)	備 考
総 会 費	500,000	166,459	333,541	総会、委員会諸経費
集 会 費	7,000,000	5,490,000	1,510,000	支部総会・TG会総会出席会費
旅 費 交 通 費	8,500,000	7,009,870	1,490,130	支部総会等出張旅費
活 動 補 助 費	4,500,000	3,253,800	1,246,200	支部・TG会活動への補助
印 刷 費	8,500,000	6,425,903	2,074,097	同窓会便覧等印刷費
記 念 誌 発 行 費	6,000,000	0	6,000,000	支部総会等開催時掲載記事
通 信 費	2,000,000	840,356	1,159,644	海外への時報発送費等
広 報 費	8,000,000	7,765,400	234,600	東北学院へ(学院時報)
ク リ ス マ ス 費	500,000	500,000	0	東北学院へ
TG十五日会費	1,000,000	772,169	227,831	十五日会講師謝礼等
賃 借 料	1,000,000	553,455	446,545	コピー機・ワープロ等リース料
人 件 費	5,000,000	4,325,494	674,506	臨時職員給与
業 務 委 託 費	6,500,000	6,038,065	461,935	外部委託費(データ入力業務等)
福 利 厚 生 費	700,000	149,589	550,411	慶弔費等
会 議 費	1,000,000	647,026	352,974	常置委員会等の会議費
備 品 費	500,000	30,200	469,800	
100周年記念寄付	10,000,000	10,000,000	0	大学・中高・櫛ヶ岡高校へ寄付
各 学 校 へ の 援 助 金	1,500,000	1,500,000	0	大学100万中高・櫛ヶ岡高校へ各25万寄付
同 窓 会 館 勘 定	1,500,000	1,214,350	285,650	同窓会館への補助金
事 務 費	1,000,000	899,923	100,077	消耗品費等
雑 費	2,000,000	1,210,359	789,641	
財 政 安 定 準 備 基 金	10,000,000	10,000,000	0	財政安定準備基金へ繰り出し
立 替 金	0	0	0	
予 備 費	5,443,577	0	5,443,577	
小 計	92,643,577	68,792,418	23,851,159	
繰 越 金	0	24,252,080	△24,252,080	
合 計	92,643,577	93,044,498	△ 400,921	

(表-3)

平成16年度末総額 14,000,000円

平成17年度 東北学院同窓会収支予算

自 平成17年4月 1日  
至 平成18年3月31日  
(単位:円)

収入の部				
科 目	17年度予算額	16年度予算額	差異(17年度-16年度)	備 考
前年度繰越金	24,252,080	31,443,577	△ 7,191,497	
入 会 金	11,604,000	11,511,000	93,000	@3,000
内				
大 学 院	18,000	174,000	△ 156,000	6人
法 務 研 究 科	96,000	0	96,000	32人
文 学 部	1,545,000	2,229,000	△ 684,000	515人
経 済 学 部	3,321,000	3,393,000	△ 72,000	1,107人
法 学 部	1,206,000	1,227,000	△ 21,000	402人
工 学 部	1,587,000	1,557,000	30,000	529人
教 養 学 部	1,686,000	759,000	927,000	562人
高 校	666,000	468,000	198,000	222名
櫛ヶ岡高校	930,000	1,185,000	△ 255,000	310名
中 学 校	549,000	519,000	30,000	183名
会 費	41,636,400	41,589,000	47,400	大学③3,000円 中学・高校①1,800円
内				
大 学 院	483,000	255,000	228,000	161名
法 務 研 究 科	267,000	0	267,000	89名
文 学 部	7,590,000	8,238,000	△ 648,000	2,530名
経 済 学 部	14,097,000	14,448,000	△ 351,000	4,699名
法 学 部	4,902,000	5,013,000	△ 111,000	1,634名
工 学 部	5,982,000	6,012,000	△ 30,000	1,994名
教 養 学 部	3,876,000	2,907,000	969,000	1,292名
内				
文学部二部	9,000	9,000	0	0名
経済学部二部	33,000	108,000	△ 75,000	11名
高 校	1,913,400	1,800,000	113,400	1,063名
櫛ヶ岡高校	1,944,000	1,899,000	45,000	1,080名
中 学 校	549,000	900,000	△ 351,000	183名
学院時報購読料	8,000,000	8,000,000	0	
雑 収 入	100,000	100,000	0	預金利息等
合 計	85,592,480	92,643,577	△ 7,051,097	

(表-4)

支出の部				
科 目	17年度予算額	16年度予算額	差異(17年度-16年度)	備 考
総 会 費	500,000	500,000	0	総会費
集 会 費	6,000,000	7,000,000	△ 1,000,000	支部総会・TG会総会等への出席費
旅 費 交 通 費	7,500,000	8,500,000	△ 1,000,000	支部総会・TG会総会等出張旅費
活 動 補 助 費	4,500,000	4,500,000	0	支部総会・TG会総会等活動補助
印 刷 費	13,500,000	8,500,000	5,000,000	同窓会便覧・3L通信等印刷費
記 念 誌 発 行 費	6,000,000	6,000,000	0	支部総会等開催時掲載記事
通 信 費	7,000,000	2,000,000	5,000,000	海外への時報発送費 3L通信発送費等
広 報 費	11,000,000	8,000,000	3,000,000	東北学院へ(学院時報費)・広告
ク リ ス マ ス 費	500,000	500,000	0	東北学院へ
TG十五日会費	1,500,000	1,000,000	500,000	講師謝礼・会場費等
賃 借 料	600,000	1,000,000	△ 400,000	コピー機・パソコン等リース料
人 件 費	5,000,000	5,000,000	0	臨時職員給与
業 務 委 託 費	6,500,000	6,500,000	0	外部委託費(データ入力業務等)
福 利 厚 生 費	500,000	700,000	△ 200,000	慶弔費等
会 議 費	1,500,000	1,000,000	500,000	同窓会委員会常置委員会等の会議費
備 品 費	300,000	500,000	△ 200,000	
開学記念援助金	500,000	10,000,000	△ 9,500,000	中高への援助
同 窓 会 館 勘 定	1,500,000	1,500,000	0	同窓会館への補助金
事 務 費	1,000,000	1,000,000	0	消耗品費等
雑 費	4,000,000	2,000,000	2,000,000	ホームカミングデー等
財 政 安 定 準 備 基 金	0	10,000,000	△ 10,000,000	財政安定準備基金へ繰り出し
立 替 金	0	0	0	
予 備 費	6,192,480	6,943,577	△ 751,097	
小 計	85,592,480	92,643,577	△ 7,051,097	
繰 越 金	0	0	0	
合 計	85,592,480	92,643,577	△ 7,051,097	

(表-5)

財政安定準備基金 平成16年度末総額 14,000,000円

## 事業計画

次の3事業が新規事業として認められ、他に「TG十五日会」「常置委員会」「同窓会委員会」などの開催も承認されました。

### ①全国紙への広告掲載

毎年5月15日の創立記念日に合わせて「学校法人東北学院」の広告と同窓会長からのメッセージを掲載します。既にご覧になられた同窓生も多くいらっしゃると思いますが、今年は日本経済新聞の朝刊に掲載いたしました。

### ②「3L通信」及び「東北学院同窓会100周年記念誌」の発行

同窓生と母校を繋ぐ東北学院同窓会報として「3L通信」を今年度から1月と7月の年2回発行します。また、昨年の総会で承認されました「東北学院同窓会100周年記念誌」を今夏の発行に向けて編集作業を行っています。

### ④支部・TG会への活動費補助の充実

総会開催に伴う郵送費の一部補助と、支部・TG会が主催する特色ある行事に対して補助を行います。具体的には、講師謝礼、ポスター等印刷費、施設使用料等の一部補助ですが、各種行事を企画される前にぜひ校友課へご相談下さい。

## 評議員の推挙

任期満了に伴う学校法人東北学院寄附行為第22条第1項第3号に規定する東北学院同窓会(卒業生)から選出する評議員について、次の5名を推挙し、平成17年1月24日付で学校法人東北学院理事長に回答しました。また、東北学院同窓会から選出された後藤久幸氏が、平成17年4月1日付で学校法人東北学院監事に就任し評議員を辞任されたことを受けて、後任者に津嶋秋夫氏(昭35文経卒・仙台商工会議所専務理事)が推挙されました。

◆1月24日付の推挙者

沼倉昭夫氏(再任)	小林信夫氏(再任)
浅野昭氏(再任)	佐々木茂氏(再任)
星曠夫氏(再任)	

## 同窓会会則の改正

本会則の改正については、同窓会活動の現状に即し、学校法人東北学院寄附行為等の諸規定を参考に行っています。改正の要点は、次の通りです。

まず、各条項に「小見出し」を設けて、規定する内容が分かるようにしました。第2条に規定する目的のなかに「東北学院建学の精神にもとづき」を加え、第4条に「支部及びTG会」を規定しました。そして第5条に規定する事業のなかで「機関紙」を「機関誌」に改め、前述の通り「3L通信」を発行いたします。また、個人情報保護法の観点から会員名簿の刊行を止めることにいたしました。

次に、第6条に規定する会員を「正会員」「特別会員」「推薦会員」の3区分としました。そのなかで、「特別会員」と「推薦会員」は総会の承認を得た者と規定し、うち「推薦会員」の口は、支部長とTG会長のほかに5名の正会員からの推薦も可能としました。つづいて、第9条に規定する入会金を現行に合わせ3,000円とし、また正会員のうち中学校及び高等学校に在学する者の会費を現行通り年額1,800円、同様に大学及び大学院に在学する者の会費を年額3,000円と明示しました。さらに、入会金を予納金として取り扱い、退学後3ヶ月以内に入会金の返却を申し出た場合は、返金すると規定しました。加えて、会費については、いかなる理由があっても返還しないと規定し、推薦会員の口は入会時に入会金3,000円と会費5,000円の納入義務を規定しました。

最後に、第10条に会計年度を規定し、4月1日から3月31日と明示しました。また、第11条に規定する役員及び定数のなかで、「副会長6名以内」「常置委員50名以内」「同窓会委員200名以内」と定数を規定しました。さらに、第12条及び第13条には役員を選任と職務を規定し、第14条に役員任期を2年と規定し、「再任を妨げない」としました。そして、第15条及び第16条に総会とその議決を定め、第17条に議事録の作成と保管等を規定しました。

## 会 則

### 東北学院同窓会会則

#### 第1章 総 則

##### (名称)

第1条 本会は、東北学院同窓会と称する。

##### (目的)

第2条 本会は、東北学院建学の精神にもつぎ会員相互の親睦と研鑽を図り、母校の発展に寄与することを目的とする。

##### (事務所)

第3条 本会は、事務所を仙台市青葉区土樋一丁目3番1号学校法人東北学院内に置く。

##### (支部及びTG会)

第4条 本会は、必要に応じ支部及びTG会を設置する。

2 支部又はTG会を設置する際は、会則を添えて総会の承認を得なければならない。

3 支部及びTG会の活動については、別に定める。

##### (事業)

第5条 本会は、本会則第2条に規定する目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 機関誌の編集及び発行
- (2) 会員名簿の整備
- (3) 支部及びTG会活動への助成
- (4) TG十五日会の開催(原則として毎月15日)
- (5) 学校法人東北学院寄附行為及び寄附行為施行細則にもとづく評議員の推挙
- (6) その他本会の目的を達成するための必要な事業

#### 第2章 会員及び経費

##### (会員)

第6条 本会は、次の会員をもって組織する。

- (1) 正会員:東北学院が設置する学校(以下「本学院」といふ。)を卒業した者。ただし、東北学院幼稚園の修了者を除く
- (2) 特別会員:正会員以外の本学院教職員又は教職員であった者のうち、本会の趣旨に賛同し、総会の承認を得た者
- (3) 推薦会員
  - イ 東北学院に貢献し、会長の推薦により総会の承認を得た者
  - ロ 本学院に在学したことがあり、支部長又はTG会長並びに5名の正会員からの推薦により総会の承認を得た者

##### (資格の喪失)

第7条 会員が次の各号のいずれかに該当するときは、その資格を失うものとする。

- (1) 退会したとき
- (2) 死亡したとき

##### (退会)

第8条 会員が退会しようとするときは、理由を付して退会届を会長に提出しなければならない。

##### (入会金及び会費等)

第9条 本会の経費は、入会金及び会費並びにその他の収入をもってあてる。

2 入会金は、一人につき3,000円とする。正会員となる者は在学中に納入するものとし、この場合は予納金として取り扱う。ただし、本学院を退学した者が退学後3ヶ月以内に既に納付した入会金の返却を申し出た場合は、入会金を返金する。なお、特別会員及び推薦会員イについては、入会金及び会費を徴収しない。

3 正会員の会費は、次のとおりとする。ただし、正会員となる者は、在学中に会費を納入するものとする。

- (1) 東北学院中学校及び東北学院高等学校並びに東北学院榴ヶ岡高等学校に在学する者は、年額1,800円とする。
- (2) 東北学院大学及び東北学院大学大学院に在学する者は、年額3,000円とする。
- 4 推薦会員口は、入会時に入会金3,000円と会費5,000円を納入しなければならない。
- 5 本会則第9条に規定する経費の納入方法等については、別に定める。
- 6 既に納めた会費は、いかなる事由があっても返還

しない。

##### (会計年度)

第10条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。

#### 第3章 役員

##### (役員及び定数)

第11条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名
- (2) 副会長 6名以内
- (3) 常置委員 50名以内
- (4) 支部長及びTG会長 支部及びTG会の実数
- (5) 監 事 2名
- (6) 同窓委員 200名以内

2 前項のほか、必要に応じて名誉会長及び顧問を置くことができる。

##### (選任)

第12条 会長は、学院長とする。

2 副会長は、大学長及び校長並びに会長が常置委員の中から指名した者2名とする。

3 常置委員は、会員の中から会長が推挙し、会長・副会長会議において選任する。

4 支部長及びTG会長は、会員の中から支部総会又はTG会総会において選任し、会長が委嘱する。

5 監事は、会員の中から常置委員会において選任する。

6 同窓委員は、次により会員の中から会長が推挙し、常置委員会の議を経て総会において選任する。

- (1) 大学及び専門学部門 130名以内
- (2) 中学及び高校部門 70名以内

7 前条に規定する会長及び副会長は、学院長、大学長、校長の地位を退いたときは、会長及び副会長の職を失うものとする。

##### (職務)

第13条 会長は、本会を代表し、会務を統括する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、会長があらかじめ指名した順序によってその職務を代理し、又はその職務を行う。

3 常置委員は、常置委員会でその権限に属する事項を審議し、議決にあたる。

4 支部長及びTG会長は、それぞれの支部及びTG会を代表し、支部及びTG会の事務を統括する。

5 監事は、本会会計を監査し、総会において報告する。

6 同窓委員は、同窓委員会でその権限に属する事項を審議し、議決にあたる。

7 名誉会長及び顧問は、常置委員会に出席し意見を述べることができる。

##### (任期)

第14条 役員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 前項の規定にかかわらず、学院長及び大学長並びに校長の職責で選任された会長又は副会長及び支部長並びにTG会長は、この限りではない。

3 補欠の役員の任期は、前任者の残任期間とする。

#### 第4章 会 議

##### (総会)

第15条 本会に総会を置く。

2 総会は、毎年1回東北学院創立記念週間に開催し、会長が招集する。ただし、会長が必要と認めるときは、臨時にこれを招集することができる。

3 総会の議長は、出席会員の中から会長が指名する。

4 総会は、次に掲げる事項を審議決定する。

- (1) 予算及び決算
- (2) 事業計画
- (3) 学校法人東北学院評議員の推挙
- (4) 本会則第6条に規定する特別会員及び推薦会員の承認
- (5) 本会則第11条第1項第6号に規定する同窓委員の選任
- (6) 支部及びTG会の承認

(7) 本会則の改廃

(8) その他本会に関する重要事項

##### (議決)

第16条 総会の議決は、出席した会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(議事録の作成及び保管等)

第17条 会長は、総会の開催及び日時並びに議決事項等について、議事録を作成しなければならない。

2 議事録には、会長及び議長の指名する2名の総会出席者が署名押印し、常にこれを事務所に備えておかなければならない。

3 会長は、会員から書面による請求があったときは、議事録を閲覧させなければならない。この場合において、会長は、閲覧につき相当の日時及び場所等を指定することができる。

##### (常置委員会)

第18条 本会に常置委員会を置く。

2 常置委員会は、本会則第11条第1項第3号に規定する常置委員のほか、会長及び副会長並びに監事をもって構成する。

3 常置委員会は、毎年2回(4月と12月)開催し、会長が招集する。ただし、会長が必要と認めるときは、臨時にこれを招集することができる。

4 常置委員会の議長は、出席委員の中から会長が指名する。

5 常置委員会は、次に掲げる事項を審議決定する。

- (1) 総会議事に関する事
- (2) 監事の選任に関する事
- (3) 同窓委員に関する事
- (4) その他本会に関する事

##### (同窓委員会)

第19条 本会に同窓委員会を置く。

2 同窓委員会は、本会則第11条第1項第6号に規定する同窓委員のほか、常置委員会の構成員をもって構成する。

3 同窓委員会は、毎年1回12月に開催し、会長が招集する。ただし、会長が必要と認めるときは、臨時にこれを招集することができる。

4 同窓委員会の議長は、出席委員の中から会長が指名する。

5 同窓委員会は、次に掲げる事項を審議決定する。

- (1) 事業計画及び予算に関する事
- (2) 事業報告及び決算に関する事
- (3) その他本会の運営に関する事

##### (準用規定)

第20条 第16条及び第17条の規定は、第18条及び第19条に規定する常置委員会及び同窓委員会に、これを準用する。

#### 第5章 事務局

##### (事務局の設置)

第21条 本会の事務局は、東北学院庶務部校友課が行う。

#### 第6章 会則の改廃等

##### (会則の改廃)

第22条 本会則を改廃するときは、本会則第15条第4項第7号により総会の承認を得なければならない。

##### 附 則

本会則は、昭和53年5月15日から施行する。

##### 附 則

本会則は、平成元年5月15日から施行する。

##### 附 則

本会則は、平成6年5月14日から施行する。

##### 附 則

本会則は、平成8年5月15日から施行する。

##### 附 則

本会則は、平成11(1999)年5月15日から施行する。

##### 附 則

本会則は、平成17(2005)年5月14日から施行する。

役員等の紹介

東北学院同窓会	会長	倉松 功	副会長	杉本 勇	監事	菅原 博
	副会長	星宮 望	副会長	若生 修	監事	竹村 達也
	副会長	松本 芳哉	副会長	江馬 成夫		

<b>宮城県</b>			釧路支部	支部長	松本 武久	いわき支部	支部長	渡邊 信雄
仙台同窓会	会長	若生 修	函館支部	支部長	石畑 弘樹	郡山支部	支部長	海老名 幸男
青葉支部	支部長	小林 信夫	室蘭支部	支部長	加藤 正恭	相馬支部	支部長	只野 裕一
泉支部	支部長	小原 優	<b>青森県</b>			原町支部	支部長	志賀 虎彦
太白支部	支部長	後藤 久幸	青森支部	支部長	木村 克己	双葉支部	副支部長	明治 一夫
宮城野支部	支部長	工藤 哲男	八戸支部	支部長	石川 幸雄	<b>関東地区</b>		
若林支部	支部長	峯岸 良造	弘前支部	支部長	尾崎 善造	東京支部	支部長	紺野 稔
秋保支部	副支部長	小林 七朗	<b>岩手県</b>			神奈川支部	支部長	山内 末雄
石巻支部	支部長	佐藤 満	盛岡支部	支部長	菊池 孝育	栃木県支部	支部長代行	小倉 猷扶
岩沼支部	支部長	渡邊 七郎	一関支部	支部長	野田 隆二	武蔵野支部	支部長	村木 一郎
大崎支部	支部長	青田 泰三	釜石支部	支部長	高橋 清一	水戸支部	支部長	木村 五郎
女川支部	副支部長	神田 郷文	北上・和賀支部	支部長	川村 陸	<b>信越・北陸地区</b>		
角田・丸森支部	支部長	相沢 好正	気仙支部	支部長	及川 純	新潟支部	支部長	福井 丈夫
栗原支部	副支部長	鈴木 洋一	紫波支部	支部長	工藤 陽國	信州支部	支部長	岡部 孝也
黒川支部	支部長	宗村 吉矩	水沢支部	支部長	及川 松右衛門	北陸支部	支部長	朝倉 秀之
気仙沼・本吉支部	支部長	斎藤 欣也	宮古支部	支部長	千葉 胤嗣	<b>東海地区</b>		
小牛田支部	支部長	笠原 和夫	<b>秋田県</b>			東海支部	支部長	小野 金夫
塩釜支部	支部長	佐藤 仁一郎	秋田県中央支部	支部長	渡邊 正人	静岡支部	支部長	阿部 俣万
志津川支部	支部長	高橋 長偉	秋田県大館支部	支部長	野口 喜三	<b>近畿地区</b>		
柴田支部	支部長	大沼 六郎	秋田県南支部	支部長	深澤 禎彦	近畿支部	支部長	針生 壽則
白石支部	支部長	沼倉 啓介	<b>山形県</b>			<b>中国地区</b>		
登米支部	支部長	氏家 良典	山形支部	支部長	鈴木 重行	広島支部	支部長	原田 仁司
名取支部	支部長	佐々木 敏克	上山支部	支部長	長田 浩	<b>四国地区</b>		
鳴子支部	副支部長	大場 孝一	寒河江支部	支部長	渋谷 常夫	四国支部	支部長	菅 威晴
鳴瀬支部	支部長	佐藤 幸弘	酒田支部	支部長	福田 喜一郎	<b>九州地区</b>		
松島支部	支部長	内田 鉄夫	新庄支部	支部長	沼澤 陽	九州支部	支部長	吉野 達雄
宮城蔵王支部	支部長	大宮 忠祐	天童支部	支部長	矢萩 武昭	<b>海外</b>		
利府支部	支部長	高橋 紀男	米沢支部	支部長	小杉 基	北米支部	支部長	赤石 正
涌谷支部	支部長	沢田 哲夫	<b>福島県</b>					
亘理支部	支部長	窪内 康郎	福島県北支部	支部長	益田 芳幸			
<b>北海道</b>			会津若松支部	支部長	馬場 英三			
札幌支部	支部長	竹山 哲夫						
旭川支部	支部長	安住 四郎						
岩見沢支部	支部長	鍛冶 昇						
帯広・十勝支部	支部長	小片 英義						

# Around Japan 北から南から

全国79支部 112TG会

## 全国に 活動の場を広げる TGネットワーク

### 気仙沼支部が 出前講座を要請

気仙沼支部では、室根神社特別大祭・閏年の翌年に開催される祭典が開催される日(十月二十二日～二十四日)を挟んで行う公開講座の準備に追われている。講座は気仙沼支部が本学教養学部にて要請して実現するもので、市民を対象に教養学部地域構想学科の教員が講師を担当する。定員は熱意ある受講者二〇〇名とし、最終回は支部総会と併せて定員を拡大すると言う。

全体で三〜四回を予定し、テーマは「海と里の結びつき〜熊野信仰がもたらしたもの〜」となっている。

### 仙台同窓会が カクテル& ビアパーティーを開催

今年で二十六回目を迎えたTG交流カクテル&ビアパーティーが、先日仙台国際ホテルにおいて盛大に開催された。当日は同窓会員の家族や友人たちも含め約五〇〇名を超える参加者で賑わい、カクテルとビールで喉を潤しながら交流を深めていた。そして、パーティーも佳境に入りハワイアンが演奏されると、会場内は常夏の雰囲気を一気にかもしだし、参加者は夏の夜のひとときを楽しんでいた。また、同窓会百周年記念の継続事業として「3L基金」の募金活動も行った。

仙台同窓会では、併せて毎年冬にTG会交流チャリティーパーティーを開催し、国内外の被災地への支援や海外の子供たちの育英基金の募金・寄附などの慈善事業を通して社会貢献も行っている。

広がるTGネットワーク—情報をお寄せください— 全国で幅広い活動を行う支部、TG会の活動報告の場です。皆様の情報をお待ちしております。(情報は校友課まで)



故 玉城 治さんの  
ご逝去を悼む

盛岡支部長 菊地 孝育

平成十六年十二月五日、当時副支部長の玉城治さんという掛け替えのない同窓生を失いました。十二月六日早朝、玉城さんの訃報に接したときは、しばし真偽を疑いました。あちこちに電話して、事実が動かし難くなったとき、茫然自失、ひどい脱力感を味わいました。

佐々木達人先輩より盛岡支部長を引き継いで以来、支部の行事や事業のたびに、玉城さんの幅広い識見と適切な助言が、支部活動の力強い支えだったのです。玉城さんは卓越した意見を述べるに留まらず、決した事項は黙々と率先して実践なさる行動力もお持ちでした。「二〇〇四東北学院大学文化講演会」の開催協力に当たっても、実行(準備)委員会の立ち上げから同講演会、岩手県同窓会を盛會裡に終了するまで、誠心誠意、指導とご協力を頂きました。「文化講演会」と岩手県同窓会の大成功は、玉城さんの御尽力に負うところが大きかったです、今更ながら痛感しておるところです。同窓会の懇談の席では、あの穏やかな玉城スマイルと訥々とした語り口で、和やかに歓談しておられた姿を、つい昨日のように思い浮かべることが出来ます。

玉城治さんは、昭和十四年十一月十二日、北海道帯広市でお生まれになり、その後ご祖父の転勤に伴い、東京を経て仙台にお住まいになりました。仙台第一高等学校から東北学院大学文経学部経済学科をご卒業、昭和三十八年四月、鹿島建設株に入社されました。以来鹿島建設にお勤めになられ、数々の要職を経て、岩手県内では「鹿島の玉城さん」と尊称され、名実共に鹿島建設の顔となりました。平成十二年の定年退職後も、同社の盛岡営業所副所長として、ご他界の前日まで業務に精励されておられたと伺います。

お別れの式には、全国各地から多数の参会者で、葬祭場の大ホールに入りきれないほどでした。業界、政財界に幅広い人脈をお持ちになって活躍なさった玉城さんの生前を偲はせるご葬儀で

した。玉城さんは早くから、自他社社間問わず、若手営業マンの面倒を見られて、指導育成に努められた、といわれます。「玉城さんにはお世話になりました」と感慨を漏らす人々の如何に多いことか、私も折に触れて感じていたところで、東鉄工業盛岡営業所長のKさんもその一人です。Kさんは、日本ALS協会盛岡支部の代表として、声涙下る弔辞を奉呈されました。そのことから、ボランティア活動の理解者、実践者としての玉城さんの姿が彷彿と浮かんで参ります。営利企業の幹部が、社会奉仕にこれ程打ち込んでおられたとは、私たちに新たな感動を呼びました。同窓会の支部活動でも真摯に取り組んでいたことが、相通じるものがあるのではないのでしょうか。

後日、Kさんは次のように語ってくれました。「私には二人の恩人がいます。一人は日本ALS協会副会長のTKさんで、もう一人は玉城さんです。お二人は私の人生の師です。特に玉城さんには、若いときには仕事のことでお世話になり、この十年間はボランティア活動でお世話になりました。玉城さんにはALS協会盛岡支部創設時から役員を務めていただきました」。

一昨年のある日曜日、市内のテアパティ店内で玉城さんとはつたり出会いました。玉城さんの倍もありそうな息子さんとお腕を組んでシヨビング中でした。「偉です」と、いつもの穏やかな笑顔で紹介してくださりました。ご家族を大事になさっている玉城さんを垣間見る思いでした。

昨年八月以降、「文化講演会」と岩手県同窓会を成功させるため、玉城さんとは頻繁にお会いしたり電話で連絡し合ったりする機会が多くなりました。たまに咳き込まれたり、言葉がとぎれとぎれになるところがありました。その都度電波が弱いせいかと思いましたが、も再々あったのですが、今になってみると、体調が万全ではなかったのかも知れません。鈍感な私は、次から次へと用事をお願いして「苦勞をおかけしました。同窓会終了後も、個人的なことで、心痛を煩わしたのは、確か十一月の二日頃だったと思います。

十月二十七日の「文化講演会」と同窓会終了後わずか、週間でみまかるとは…。自分の半身を失ったような痛手と空しさを感じます。

私たち東北学院同窓生の中に、玉城治さんがおられたことを大変誇りに思います。名利を求めず、ひたすら「地の塩」に徹した玉城さん、心から感謝と尊敬の誠を捧げ、ご冥福をお祈り申し上げます。

## 同窓会 ネットワークを 支える

Faces

東京支部長 紺野 稔

紺野稔法律事務所長 弁護士

昭和二十三年 東北学院中学校卒



東京丸の内に法律事務所を置く紺野稔さんは、東京支部長でもある。今も週に二〜三回は法廷に立っているという紺野支部長に、弁護士になった経緯や支部長としての抱負についてお話を伺った。

**弁護士を志した動機からお伺いします。**

私が学院中学校を卒業した当時は戦後復興の最中で、同級生のほとんどは専門部へ進学したんですが、私は経済的な理由もあって母親の郷里である福島県で代用教員をしていました。その後、福島青年師範学校へ編入し福島県教員になりましたが、もっと上の教員資格を取ろうと中央大学の通信教育を受けたんです。

ところが、これまでの体験からこれからは必ず資格の時代が来ると思つてね、それじゃ弁護士になろうと中央大学の法学部三年次に編入したんです。その頃はまだ若かったんですからチャレンジ精神が旺盛だったんですね。そして、司法試験に受かり昭和三十六年四月に東京弁護士会に登録しました。当時の司法試験合格者はたった三百名でしたが、がむしゃらに勉強しましたね。

**これまで関わった中で、特に印象に残っている事件は何ですか。**

弁護士を登録した年に起きた「武州鉄道事件」です。これは武州鉄道の設立認可をめぐり、武州鉄道創立事務局代表が樋橋渡運輸相に計九百万円の賄賂を贈った

事件です。私は第三グループの主任弁護士を務めていまして、執行猶予を勝ち取りました。

また、最近では、昭和六十一年の燃糸工連事件ですね。日本燃糸工業組合会理事長が詐欺容疑で逮捕された後に、国会質問に絡んで受託収賄罪で横手文雄代議士と収賄罪で稲村左近四郎代議士が在宅起訴された事件です。この時も主任弁護士を務めたんですが、第二審の高等裁判所で逆転無罪を勝ち取ったことが忘れられませんね。

**東京支部では**

**どんな活動をされていますか？**

私は昭和四十九年から東京支部長をしていますので、かれこれ三十年が過ぎます。東京支部では、毎年六月に総会を開いているんですが、百名を超える同窓生が出席しています。母校からも同窓会長をはじめ多くの先生方に出席いただいております。恩師との再会を喜んでいる同窓生もかなりいます。

それから、同窓生で歌舞伎座の副社長をされている宮崎さんに協力をいただき、毎年二月に新春歌舞伎観劇会を開催しています。これはなかなか好評です。最近では東北学院同窓会と共催で実施しています。今年も、十八日目中村勘

三郎の襲名披露を総勢百名で家族と緒に楽しむことができました。

**東京支部長としての抱負をお聞かせ下さい。**

一九〇八年(明治四十一年)に東京支部が設立されたので、あと三年で百周年を迎えることになります。この百周年にふさわしい記念事業をこれから三年かけて検討し、実現に向けて具体的に準備していきたいと思っています。もちろん、東京支部の名に恥じない事業を展開していこうと思つてるところです。

それと、校友課と密接に連絡を取り合いながら、総会への出席者をもっと増やしていきたいと思っています。特に、若い同窓生には今まで以上に参加してもらいたいですね。そのために、これから支部役員と相談し具体案を話し合っていきたいと思っています。

**最後に、ひと言同窓生に**

**メッセージをお願いします。**

東北学院の教育は「おごらず」「高ぶらず」だと思っています。いわゆる「地の塩」「世の光」ですね。この精神をいつまでも忘れないで、皆さんの生活に活かして欲しいと思います。

## 「東北学院大学文化講演会2005」を開催

今年で3回目を迎える東北学院大学文化講演会を次により開催いたします。「日本人のルーツと縄文文化」をテーマに、古人骨から人類のルーツを探究する研究で名高い百々幸雄先生のお話を伺います。友人・知人お誘い合わせてご参加下さい。

日時…平成17年11月26日(土)14:00～16:00

場所…ホテル青森(青森市堤町1丁目1の23)

TEL 017-775-4141

内容

### ①主題講演

演題／未定

講師／東北大学医学部教授 百々 幸雄氏

### ②シンポジウム

演題／縄文人の交流と三内丸山遺跡(仮)

パネリスト／東北大学医学部教授 百々 幸雄氏

青森県立郷土館副館長 福田 友之氏

本学歴史学科教授 佐川 正敏

司会／本学歴史学科長 辻 秀人

## オープンキャンパスに参加してみませんか

東北学院の各学校では、今年も入学希望者を対象にオープンキャンパスを開催します。毎年多くの生徒と保護者にご参加いただき大変好評をいただいております。今年も多数ご参加下さいませようご案内いたします。

### 東北学院大学

泉キャンパス

日時…8月6日(土)9:00～16:00

内容…入試説明会、学科ガイダンス、模擬授業、個別相談コーナーなど

多賀城キャンパス

日時… 8月6日(土) 9:00～16:00

8月7日(日) 9:00～15:00

10月8日(土) 9:00～16:00

10月9日(日) 10:00～15:00

内容…キャンパス施設見学、学科ガイダンス、総合相談コーナーなど

### 東北学院中学・高等学校

日時…8月27日(土)

小学生・保護者対象 9:30～12:00

中学生・保護者対象 12:30～15:00

内容…入試概況及び進学状況説明、施設見学・部活動見学(体験)・体験授業、何でも相談窓口、食堂開放など

### 東北学院榴ヶ岡高等学校

日時…8月23日(火)9:30～13:00

内容…入試説明会、体験授業、部活動紹介、入試相談、学校紹介ビデオ上映、構内ツアー、食堂開放など



新校友課長あいさつ  
同窓会のさらなる発展を目指して

1903(明治36)年に24名の同窓生により結成された東北学院同窓会は、一昨年設立100周年を迎え、今日では143,692名の同窓生を数えるまでに発展しました。現在、本学院同窓会には北米支部をはじめ全国に79支部と112のTG会が組織され、会員相互の交流を深めながら活動を行っています。

校友課は、文字通り14万余名の同窓生と母校を繋ぐ大きな役割を担っています。同窓生の皆様に母校がもっと身近に感じていただけるようこれからも課員一丸となって業務を推進して参ります。今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

今野 靖

東北学院校友課長

(昭四十三経経卒)

## T O P I C S

### 齋藤陽子さん元気に帰国

海外での肝臓再移植手術を余儀なくされ、昨年9月29日に渡米した齋藤陽子さん(平7経経卒)は、去る1月20日に無事手術を終えマイアミ大学・ジャクソン記念病院にて術後の治療を行っていましたが、順調に回復し、この度元気に帰国されました。東北学院時報(平成16年4月15日号)でも海外移植のための募金協力を呼びかけ、多くの同窓生から協力をいただいた陽子さんは「皆さんのお蔭でこんなに元気になりました。本当にありがとうございました」と感謝していました。



### 女子応援団員が活躍

大学の応援団といえば、団員は男子学生というのは昔の話。最近では団員として女子学生が入部し、男子学生と一緒に活躍している。今春、教養学部言語文化学科に入学した長谷川園子さんもその一人。「私が応援団に入団したのは、大学を卒業してから社会人として責任を持って生きていくため、在学中に自己の確立と礼儀を習得することが重要だと感じたからです」と長谷川さん。本学だけでなく他大学でも団員の少人数化が進み、応援団そのものの存在が危惧されているという。長谷川さんは「私は一生懸命に応援しようとする気持ち、そして応援団で人間として立派に成長しようとする心構えが大切だと思っています。男性であれ、女性であれ、明確な目的を持ち、団員であるという誇りを持って努力していきたい」と抱負を語ってくれた。

教養学部言語文化学科1年  
長谷川園子

(宮城県第一女子高校出身)



東北学院大学

**土樋キャンパス**  
 大学院：文学研究科、経済学研究科、法学研究科  
 法務研究科  
 学 部：文学部・経済学部・法学部（各3・4年）  
 〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3番1号  
 TEL.022-264-6421 FAX.022-264-3030

**多賀城キャンパス**  
 大学院：工学研究科  
 学 部：工学部  
 〒985-8537 多賀城市中央一丁目13番1号  
 TEL.022-368-1116 FAX.022-368-7070

**泉キャンパス**  
 大学院：人間情報学研究科  
 学 部：文学部・経済学部・法学部（各1・2年）  
 教養学部  
 〒981-3193 仙台市泉区天神沢二丁目1番1号  
 TEL.022-375-1121 FAX.022-375-4040

東北学院中学・高等学校

〒983-8565 仙台市宮城野区小鶴字高野123番1  
 TEL.022-786-1231 FAX.022-786-1460

東北学院榴ヶ岡高等学校

〒981-3105 仙台市泉区天神沢二丁目2番1号  
 TEL.022-372-6611 FAX.022-375-6966

東北学院幼稚園

〒985-0862 多賀城市高崎三丁目7番7号  
 TEL.022-368-8600 FAX.022-309-2655

… 編集後記 …

東北学院同窓会では、多くの同窓生から寄せられていたご要望にお応えし、今年度より東北学院同窓会報「3L通信-Lux Mundi」を1月と7月の年2回発行いたします。14万人を超える同窓生と母校を繋ぎ、皆様方から親しまれる機関誌になるよう鋭意努力し編集して参りますので、末長くご愛読下さいませようお願いいたします。

今回は創刊号ということで、2つの特集記事を中心に、「3Lセミナー」として「宮城県沖地震に備える」を、また「健康と医療」には「がんの予防と治療」を掲載しました。高い確率で起こると予測されている宮城県沖地震、そして健康で暮らすために知っておきたい予防医学について、それぞれ専門の立場からアドバイスをいただいておりますので、これからの生活にお役立ていただければ幸いです。この他にも「躍動する同窓生」や「懐かしい風 美味しい味」を企画し、多才な同窓生とあわせて同窓生が経営しているお店を紹介しました。皆様方の交流の場としてぜひご利用下さい。

「3L通信-Lux Mundi」は、同窓生の皆様に母校の様子を伝えるだけでなく、皆さんからの情報やコラムも掲載し、同窓生の交流の輪が一層広がる仲立ちになるべく編集していきたいと考えています。どうぞ支部・TG会の活動を含めて、身近な情報をお寄せ下さい。

I N F O R M A T I O N

■ 支部総会

東京支部  
 日時:7月29日(金) 18:00～ 会場:ホテルグランドヒル市ヶ谷 連絡者:紺野 03-3268-0111

新潟支部  
 日時:8月19日(金) 18:30～ 会場:ウェルシティ新潟 連絡者:福井 025-273-0587

盛岡支部  
 日時:8月20日(土) 18:00～ 会場:ホテルメトロポリタン盛岡 連絡者:工藤 019-629-2601

大館支部  
 日時:8月24日(水) 18:30～ 会場:秋北ホテル 連絡者:藤原 090-6254-2424

八戸支部  
 日時:8月26日(金) 18:30～ 会場:八戸グランドホテル 連絡者:松本 090-9031-5692

岩沼支部  
 日時:8月27日(土) 17:00～ 会場:竹駒神社「参集殿」 連絡者:古積 0223-22-1111 内線551

■ TG会総会

七十七銀行TG会  
 日時:7月15日(金) 18:30～ 会場:勝山館 連絡者:齋 022-267-1111

■ 青森県合同同窓会

校友課より

「個人情報保護法」への取り組みについて

本年4月1日より「個人情報の保護に関する法律」が施行されたのに伴い、東北学院では園児・生徒・学生をはじめ卒業生等の個人情報の取り扱いについて「学校法人東北学院個人情報保護規程」を定め、個人情報の適正な管理と保護に努めています。

校友課では、東北学院同窓会の運営に必要な皆様のご個人情報をお預かりしていますが、今後も個人情報保護法に基づき慎重に取り扱って参りますので、皆様方のご理解・ご協力をお願いいたします。詳細については、東北学院ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

なお、東北学院同窓会で使用する個人情報の利用目的は次の通りです。

- ◇「東北学院時報」並びに「3L通信-Lux Mundi」の発行・送付
- ◇「東北学院時報」購読料徴収に関わる事務
- ◇ホームカミングデー「懐かしい出会いのタベ」参加費徴収に関わる事務
- ◇各支部・TG会が主催する総会及び行事の案内
- ◇その他、上記に関連する業務

お知らせとご協力をお願い

東北学院同窓会では、今秋を目処に「卒業生データ管理システム」を稼働すべく現在準備を進めているところです。このことにより、これまで使用していた外字への対応ができなくなり、システム稼働後はJIS第二水準の漢字を使用することになりました。同窓生の皆様には何かと迷惑をおかけすることと思いますが、ご協力下さいますようお願い申し上げます。なお、不都合の方は、お手数でも東北学院校友課までお知らせ下さい。